

西新宿七丁目町会 青年部ニュース

NO.29

力強いわが町青年部

町会長 小林 秀雄

青年部の皆様には家事やお勤めなどご多用の中を、率先して町会の幾多の行事に参加下さいまして有難うございます。

今年の西新宿七丁目町会では六丁目・七丁目・八丁目そして成子町会との夏期行事の総括として、七月二十日より八月十日までのラジオ体操をはじめ、消防と楽しむ子供達のどじょうすくい、二十四日・二十五日の盆踊り等を無事に終わりました。

その下準備は青年部の力強い協力で行われました。

たことを滝部長はじめ青年部員の皆様に厚く御礼申し上げます。去る八月二十七日には青年部主催の恒例の縁日が行われましたが、生憎の雨天にもかかわらず小島屋乳業の場所をお借りし実施されたことは特記すべきところと思っております。

この事は青年部役員の陰の努力はさることながら、日頃町会に対する姿勢が町民の好意を得ているからにはありません。

九月に入ればお祭。十月には防災訓練。十二月

からは寒中での長期間の夜回り等これからもご苦労が続きますが、どうぞよろしくお願い致します。町会としても、各部の若返りを図り、組織部も新設致しました。

平成三年の都庁移転を控えて、町内の変容は想像以上のものがあるうかと思いますが、これからも一層のご協力をお願いします。

致します。

なお、八月中旬でしたが夜間違法にゴミを捨てに来る人への監視や放置自転車・放置オートバイの撤去作業にも進んでご協力をいただきました。有難うございました。

最後に、青年部の一層の親睦と発展を祈念致します。





ご寄附者名(順不同・敬称略)

小林 宮島 川村 土屋 嶋村 森井 佐藤 川原 井西 滝沢 尾沢 中野 渡辺 小林 田中
 秀雄 正誠 右近 文夫 昌三 好彦 光義 豊之 康之 将夫 良貞 孝吉 正徳 勝栄 六郎 光夫 保信
 婦人友の会 鳥佐野 成子商店会青年部 オービー親睦会 西新宿八丁目青年部 西新宿六丁目青年部
 加賀谷良平 石川慶太郎 児安 守 鈴木 勝夫 大塚 敏男 青木 徳次 小林 善一郎 小林 正典 佐々木 憲一 荒井 保次 高須 久代 西山 保

63年度総会及び懇親会			
収入金		支出金	
会費1000×33名	33,000	会場費	5,000
寄附金	182,500	弁当他	204,700
		残金	5,800
215,500		215,500	

部長の乾杯の音頭で賑やかな宴が始まり、ご招待者の紹介やカラオケによる自慢の喉の披露などがあり盛況のうちに閉会となりました。

御礼のことば

部長 滝

良 貞

まず、この紙面をお借り致しまして、皆様に、心より深く感謝申し上げます。本当に、ありがとうございました。

一昨年の十月、青年部々長の大役を、仰せつかりました時には、皆様には大変申し訳ございませんが、不安で心ばかり焦っております。しかし、諸々の行事を行っていく内、不安は安心へ、そして、自信へと変わって行きました。それは、青年部の皆様、町会の皆様、そして、数限り無い皆様のご協力が有ったからです。

た力を、皆様のご協力に依り結集すれば、大変な原動力となります。青年部の源は、この力だと思えます。青年部発足以来、この力は絶える事なく続いております。今後、永久に続く様、皆様のご協力を、切にお願い申し上げます。

六十三年十月十六日、日本アパレルアカデミーの仮校舎に於て、午後六時より、六十三年度総会が、部員多数の出席により開催されました。

小林副部長の司会により中野副部長の開会の辞にはじまり、滝部長の挨拶に続いて、中村保信を議長に選出、今年度の事業経過報告、会計報告、会計監査報告、次年度事業計画案、予算案の報告がスムーズに進行しました。次に質疑応答で、矢沢博氏により部費の値上

第十八回六十三年度 総会及び懇親会

1B 中村 保信

ひき続き午後七時より嶋村総務部長の司会で懇親会が、町会長をはじめ、町会役員、婦人友の会、OB会、隣接青年部の皆様を招いて始まりました。来賓の挨拶の後、田辺元



新年会&ビーチボール大会

2B 嶋村 好彦

昭和天皇の崩御により平成元年の幕明けとなりました。

自粛ムードの中、新年会を中止しようかどうかどうしようかと話し合ったりもしましたが、初顔合わせの会ということで、一月二十二日に行われました。

昨年と同様に淀一小の体育館で、ブロック対抗のビーチボール大会と、輪投げ大会を行い熱戦が続きしました。

午後から洋服学校で、表彰式と、初顔合せ会を行い、賞品のお花をいただいて、全員が、大よろこびでした。

来年も大勢の皆様の御参加を、お待ちしております。

ご寄附者名(順不同・敬称略)

小林 鈴木 川原 小林 小林 中野 上野 中村 喜代 田辺 筆宮 石川 滝沢 佐藤 佐藤 小嶋
 佳直 康夫 康之 秀雄 正典 勝徳 保信 美夫 光夫 武男 良貞 豊之 昌之 茂
 林 渡辺 加賀谷良平 鳥佐野 西新宿親睦会 新谷 巧 宮島 武明 伊藤 秀雄 鈴木 公雄 春日 一郎 尾沢 孝宜 婦人友の会 清水 孝宏 小川 宏 嶋村 好彦 土屋 三郎

平成元年度初顔合せ会並びに ビーチボール大会			
収入金		支出金	
会費 98,000	(一般を含む)	会場費	5,000
寄附金 138,000		輪投げ品他	86,200
		料理他	81,030
		残金	63,770
236,000		236,000	

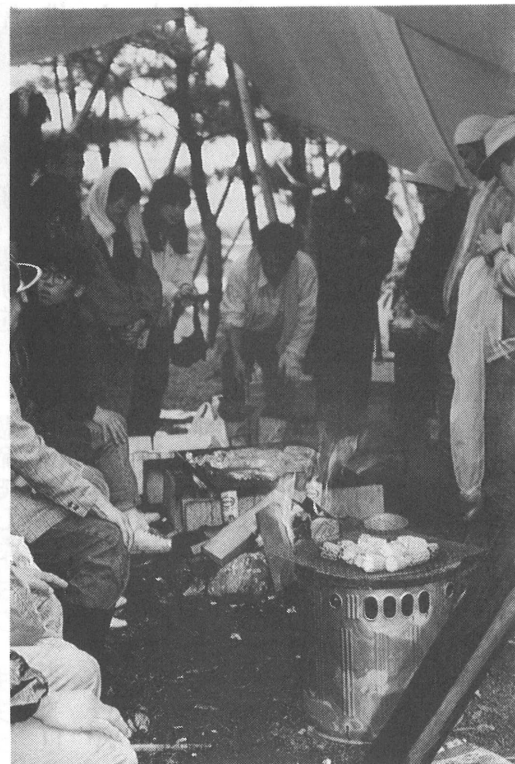
ご寄附者名(順不同・敬称略)

山本 豊吉 小杉 悦一 小嶋 栄一 笹生 孝弘 半田 良平 尾沢 久吉 桜井 一夫 小玉 久吉 林 敏男 大塚 敏男 石田 和雄 上野 勝夫 中野 正徳 滝 良貞 川原 康之 石川 慶太郎 森井 光義 川村 勝保 高須 保保 荒井 保次 鈴木 康夫 会田 友太郎 西新宿親興会 前波 商店 小林 善一郎 七丁目町会 サン理容室 宮島 右近 林田 秀雄 吉川 健実 日 本 浅井 憲龍 新宿防犯協会会長 新宿消防署々長 新宿警察署防犯係 小林 佳直

リクリエーション

6B 中野 正徳

六月十一日あいにくの天候の中近くて、海があつて、楽しそうという事で初めてお台場海浜公園へ期待と興奮の中出発しました。約一時間お台場到着、見ると先発の人がテントシートを張った火をたいたりの大いそ



がしの最中それとばかりに部員全員で支度にかかりあつと言う間に、カレーの鍋の支度、とうもろこしの皮むき、ウインナー、やきそば、牛肉を焼きはじめ大忙し、その間子供達とはと、見ると、海の方で、はしゃいだ声、近寄ると、バケツの中に大きなクラゲが、ういて

いて大喜びです。バーベキューが終ると、今度はつりをする人、水上バスに乗る人有りそれぞれ楽しめました。最後はおましかねのすいか割りや、宝さがしで、子供達は一日中楽しそうでした。大勢の皆さん御協力有難うございました。



第十六回防火防犯パトロール

2B 新谷 巧

部員の方々、それぞれの仕事に依つて、十一時からのパトロールも、ずれ込みがち雨模様も伺いながら人員の数が揃つて、さあ出発、巡回路を効率よく廻つて終了して何事も起こらないで過ぎてしまふ事を念じて次の当番日の確認や世間話等、をしておやすみなさい。ところで話しの中で最近、町内は土地柄建築中の戻出物、あき地の暗がりが増え、かなり危険な事故が予想されるので、今後の対応を、宿題としましょう。今年度も、何事もなく終り、例年通り穏やかな三ヶ月間のパトロールで

した。参加されました皆さん御苦労さん。次回もよろしく御協力下さい。

第十六回防火防犯パトロール 打ち上げ慰労会

4B 土屋 三郎

今年も、寒い冬をのりこえて、三月五日マイシティ八階のイセタンプチモンドで盛大に開催されました。会場には、消防、警察町会のご来賓二十名、パトロール員五十数名のご臨席を見、午後六時より始まりました。第一部は小林副部長の

司会により、部長、町会長、新宿警察署署長の挨拶の後、田辺元部長の乾杯で第二部慰労会に入りました。中野副部長より、ご来席のパトロール員の紹介、続いて総務の嶋村、浜田、両氏の司会で、カラオケ大会、川原副部長のお礼の挨拶、中村前部長の中々で、大変楽しく、賑やかな慰労会も終了致しました。慰労会に、多数の皆様方より、ご寄附をいただきました。大変有難うございました。

平成元年度防火防犯パトロール打ち上げ	
収入金	支出金
会費1000×53名 53,000	会場費飲食代 485,705
寄附金 318,000	その他 9,920
町会より 30,000	
部費より 94,625	
495,625	495,625

平成元年度夏休み子供縁日			
収入金		支出金	
前売券	41,800	材料費他	242,545
当日券	26,860	残金	27,115
寄附金	201,000		
269,660		269,660	

強く持ちました。この気持は、青年部、OBも含め御協力いただいた皆様共通のものだと思います。それにしてもこの台風の中でもやり遂げる七丁目の人達の結束のすごさを感じ知りました。

最後に青年部員、OBの皆様、そして何よりも小島屋乳業様、御協力をいただいた皆様、大変有難うございました。

また来年も皆様のご協力を、よろしくお願い致します。

ご寄附者名(順不同・敬称略)

川村 敏男 小杉 悦一 小林 正典 青木 徳次 中村 保信 佐藤 昌之 半田 弘 桑理容室 鈴木 康夫 中野 正徳 川原 康之 森井 光義 石川 慶太郎 田辺 光夫 桜井 聖明 西山 久代 林田 秀雄 渡辺 昭治 清水 孝 小嶋 茂 佐々木 恵一 滝 良貞 尾西 将夫 井西 孝宜 七丁目町会 小林 佳直 石田 和雄 好彦 土屋 三郎 近藤 隆二 宮島 右近 新宿広小路会婦人部 春日 一郎 林 正誠 六郎 英世 正夫 紀子 豊 洋寿 巧 小島屋乳業 小林 秀雄 荒井 保次 会田友太郎 村上 暢子 婦人友の会 喜代美 上野 勝夫 浅井 憲龍 新宿警察署(防犯、交通) 金子 住雄 岡 信喜 加賀谷良平



「えん日」

小二濱 田 麻 世

このまえ、ちかくのこえんで、えん日ちが、ありました。

でも、その日は、あいにく、てんきは、雨なので、わたしは、(もしかして、やらないのかも)と、ソワソワしていました。でもパパは、「雨がふっていても、小じまにゆうぎようで、やるよ」と、言っていました。

わたしは、さっそく、友だちの、森山さんと、のんちゃんを、よびました。のんちゃんは12時半ごろ、うちにきます。森山さんは、10時に、うちにきます。「ピンポン。」森山さんがきました。えん日まで、まだまだ時間が、あるので、マ

ご寄附者名(順不同・敬称略)

滝 渡辺 良貞 中村 敏男 中野 正徳 小嶋 茂夫 上野 勝夫 喜代 美夫 半田 弘美 田辺 孝宜 尾西 将夫 清水 孝 嶋村 三郎 土屋 康之 川原 康之 浅井 敏男 石川 武藤 石川 秀樹 佐藤 時義 小林 六郎 林田 秀雄 金子 住雄 桜井 聖明 新井 正夫 小嶋 佳直 佐藤 昌之 渡辺 昭治 森井 光義 小林 正典



平成元年度リクリエーション			
収入金		支出金	
会費	128,500	観光バス	180,000
(一般を含む)		飲食代他	236,645
寄附金	96,000		
部費より	192,145		
416,645		416,645	

夏休み子供縁日

1B 石川 時 義

八月二十七日朝七時半台風の為大雨が降っている。風もでてきたようだ。打合わせどおり一応トラックを持って柏木公園に行ってみる。青年部長始め部員みんなが既に集まっている。ものすごい意気込みである。九時頃まで様子を見たがますます、風雨が強くなっている。公園も水が浮きだしプールの様な状態である。とても縁日が出る状態ではない。検討に検討を重ね公園での縁日は中止にする事にする。ここであきらめないのが七丁目青年部のものさである。こういう時の事も考えていたのである。

部長始め部員の人小島屋乳業さんの所へ場所を借りに伺う、小島屋乳業さんの駐車場はみなさんも知っている様に屋根が付いている大変広い縁日を行うには、もってこの所であります。

待つ事三十分部長が公園に戻って来ました。オーケです。小島屋乳業社長の御好意で場所を借りる事が出来たのです。それからの準備の手ぎわのよさと、早さはものすごい物であつと言う間に終らせました。さて次の心配は子供達が来てくれるかどうかであります。なにせ外は、台風なのであります。早速スピーカーを持って車に乗り場所の変更と、実行とを告げに行く人、公園に案内板を下げる人、公園で誘

導する人、と子供集めに懸命でした。

いよいよ時間です。青年部員、OBの方々は、びしょぬれで、まっ黒です。準備はすべて終わりました。屋根の下は、とても快適です。

子供達が集まって来ました。長くつをはき、傘をさして子供たちはほとんど、来てくれました。苦労した分とてもうれしく思ったのは、私だけではないと思います。

子供達は、くだものゲーム、射的ゲーム、やさそば、わなげ、金魚すくい、ヨーヨーつり、ポップコーン、わたあめ、子供達が喜ぶ姿を見ると、準備の苦労や疲れも吹き飛んで、この縁日は今後も続けたいという気持ちを

ングを、読んだり、トラ
ンプを、したり、してい
ると、のんちゃんが、あ
そびにきました。

さあ、いよいよ、えん
日に、出ばつです。みん
なで、スキップを、しな
がら、いきました。

小じまにゆうぎように、
ついてみると、まだ、ほ
とんの、おみせがじゅ
んび中でした。

しばらくすると、けいさ
つの、おねえさんが、き
て、ふくわじゅつを、し
てくれました。

ふくわじゅつが、お
わってから、えん日が、
はじまりました。わたし
たちは、おなががすいて
いたので、まず、ヤキソ
バから、たべました。そ
れから、くだものゲーム
を、しました。わたしと
森山さんは、まってるあ

いだに、「ねえねえ、す
いか、あたるとい
ね」としゃべりながら、
まっていました。つぎは、
かきごおりを、たべまし
た。

妹と、のんちゃんは、
金魚すくいを、していま
した。

そして、みんな、わ
なげを、やりました。わ
たしは、おもちゃの、け
んが、あたりました。

わたしは、おもわず、
「やったあ、やったあ」
と、よろこびました。

そして、さいごに、く
だものゲームを、しまし
た。そして、なんと、わ
たしは、いちばんほし
かったスイカが、あたり
ました。

夕しよくの、あと、み
んなでたべました。あま
くて、おいしかったです。

町会だより

町会総務部長になって

総務部長 尾沢 孝宜

『町会役員の若返り』
という小林町会長さんの
提唱で、青年部オービー
と歴代の青年部長に招集
がかかり、相談されたの
が昨年の暮の頃でした。
町会執行部の皆さん方と
逢って相談を重ねるうち
に、『木乃伊とりが木乃
伊』になってしまった訳
です。総務部長にふさわ
しい人がほかにいくらで
もいるのだからと極力辞
退申し上げたのですが、
どうしても断わり切れず
引き受けざるを得なく
なっていました。

町会の総務部とはどう
いうことをやるのかよく
考えてみました。がはつき
りとはわかりません。『総
務』とは、『全体の事務
をしめくくること、また
しめくくる人』と国語辞
典には載っておりまし
た。これまたよくわかりま
せん。とにかく引き受け
てしまった以上、町会の
運営、活動に一生懸命頑
張っていくつもりです。
およそ人には持って生ま
れた資質、才覚というも
のがあると思います。お
そらく私にとって総務と
いう職は一番ふさわしく
ないのではないかと思っ
ていますが努力は惜しま
ぬつもりです。幸いにも
七丁目町会には諸先輩方
が敷いてくれた立派な路
線もできていますし、青
年部の皆さんの若いエネ
ルギーがあふれています。
町会の運営は青年部員や
オービーの御協力なくし

オービー親睦会の 現況について

会長 渡辺 昭治

青年部の皆様には、平
素色々とおオービー親睦会
にご協力賜り、厚くお礼
申し上げます。

昭和五十六年十一月に
オービー親睦会が発足し
て、早や八年の歳月が過
ぎるこの頃です。思えば、
歴代の会長の意志を、親
睦団体としての基本的理
念のまま継いで来ました。
私も会長としての責務、
二年間を終らせて頂くこ
の頃です。

『花園へのお誘い』と
題しての信玄公の故郷山
梨へ、色彩やかな「桃の
花」香り：親睦の輪が広
がる：楽しき思い出!!
よねわか荘、天成園、
大観荘、小涌園等々、旅

行を楽しみ、個人では味
わう事の出来ない舌鼓み
が一杯!!ありました。幹
事さんのお骨折りで特別
企画の旅同好会は、い
つも楽しみにしていた行
事の一つです。

親睦会も八年が過ぎ、
年号も昭和から、平成と
なり時代の変遷と共に、
動きが出て来ました。そ
れは、町会の運営を、買
う年頃のオービー親睦会
の面々より、多くの方々
町会の中核として、活躍
して来た事です。各部の
部長として、町民の安全、
町の繁栄等々に行政と共
に推進しています。若い
力が町の運営にどんどん
役員として入って行く事
は、大変嬉しく思います。
オービー親睦会は親睦を
目的とした会として、今
後も楽しく人の和を大切

財務部

部長 小林 正典

では何事もできません。
何卒皆様方の御協力の程
よろしくお願いいたしま
す。

自分で言うのもおかし
な事です、断り下手で
口下手で気がやさしいも
ので、長老三人の強引な
責めにあい、断ると悪い
事をしているような気が
してきて、つい、財務
部長を引き受けてしまっ
はめになりました。

町会の内容などたいし
て知らない私などがいき
なり皆様の大切な町会
のお金を管理する会計な
どという大役をおおせつ
かって半年余りたちまし
たが、いまだに不慣れな
為金銭の出し入れに間違



いのないようにとの事で精一杯で他に頭が廻らず何かとご迷惑をかけているかもしれませんがご容赦下さい。

又、今年度で青年部を満年退部する事となり、二十年近くの間多くの方々と知り合いになり、数々の想い出ができました。ありがとうございます。青年部を退部しても今迄同様によくお付き合いをお願い致します。

婦人部



部長 村上暢子

青年部の皆様には日頃大変お世話になって居ります。町会に対して又青年部独自の活動には目を見張ばかりで敬服と感謝で一杯でございます。今後共宜しくお願い致します。

す。

私事になりますが、今度ベテランの西山久代婦人部長の後任として私が婦人部長と言う重責をお引受けする事になり、今さらながら困惑している毎日でございます。しかしお受けした以上は少しでも町会の為にお役に立ちたいと思って居ります。しかし私が一人動いてもどうする事も出来ません。下町的な温情あふれる西七町会ですが地域が広く、今、様変わりしつつあります。町会費をお払い下さっているご婦人の方は全員婦人部員と考えて居ります。組織部の組織に乗り分けをしブロック活動をお願いしたいと思っております。未熟な私でございますが、お知恵とご協力を賜ります様この場

をお借りしてお願い申し上げます。最後になりましたが、青年部の益々のご発展と会員皆様のご健勝を心からお祈り申し上げます。

組織部よりお願い

部長 田辺光夫

七丁目町会に組織部が新設されました。

組織部の仕事として

- 一 町会名簿作成
- 一 町会ブロック作り
- 一 町会入会者誘致
- 一 町会費確保

「現在年総額百万円程度マルデタリズ。会計に成り変り」

- 一 回覧、配布物等全会員に行き届く

以上の様な仕事があるかと思ひます。

同好会だより

野球同好会だより

上野 勝夫

わあーっ!! 夢みたい。十一月三日我ウイングスは、西武球場に足を踏み入れた。プロ野球のメッカ人工芝の西武球場である。

今日の相手チームは、北新宿に本拠地を置く、「パルパル」チームである。過去の対戦は五分五分の強豪チームである。わがウイングスは一塁側のベンチを取った。森監督が率いる西武ベンチと一緒にである。

「ここに森監督が座っているんだね」「この辺は清原とか石毛がよく座っているのテレビで見えるよ」選手以外の応援団もベン

チに入っているの、大変にぎやかである。人工芝を一度でもよいから、実際に踏んで見たいと、参加者一同ダイヤモンド内に入りました。

試合開始!!

外野にタマが飛んだ。外野手は後にそらしエラーした。タマは無常にもどろどろころがる。走る走る。広い広い緑のジュータン。ころがるタマをなかなかつかまえない。ヘンスにぶつかってタマは止った。やっと選手もタマをつかまえた。しかし、つかまえたタマを、ホームに向かって投げなくてはならない。息切れした選手はそのタマを遠くに投げられない。何回かバウンドして、中継してホームについた。打った選手は走

り続け、ダイヤモンドを一周してしまった。タマより早くホームを走り抜けたのである。一点入る。この際どちらのチームの事かわからない。一点より広い広い、夢の球場での試合が楽しい。夕やみせまる西武球場。借用時間ギリギリ迄人工芝を踏んで、記念写真。子供はキャッチボールにと、あつと言う間の二時間でした。

西七青年部

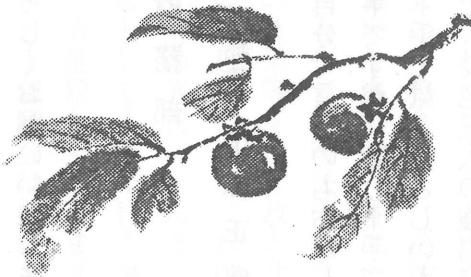
旅行同好会

4B 小林六郎

今年は、七月八日箱根湯元「南風荘」へ一泊旅行を楽しんでまいりました。今回は参加者が増え二十八名で新宿をロマンスクーで出発。車内では発車のベルが鳴る前から

去る十月十日休日の処青年部の皆様には、町内一軒一軒隅々まで調べて頂き大変有難う御座居ました。

今後とも青年部の皆様には色々御手伝い頂かなくては町会組織は出来ません。協力の程よろしく御願ひ申し上げます。



缶ビールがどんどん空き、ウイスキーも湯元駅に着くころには、全部カラ。全員ホロ酔気分。駅からは観光協会差し回しのバスで旅館へ直行。くじ引きで決めた部屋へ落ち着き、温泉で日ごろの疲れをいやし、六時から大広間へ。青年部々長の挨拶、同好会々長の挨拶と、会場の外で芸者が待っているのに、貴重な時間をつぶし、中村保信同好会々長から来期は、田中直久さんにバトンタッチされることが、満場一致で決定し、さあ乾杯その後は芸者さんが加わり、頼みもしない、ギター引きも仲間入り。酒だ、料理だ、カケオケ、ダンスと忙しいこと忙しいこと。決められた席に座っている者は一人もいない有り様。

翌朝仲居さんから聞いた話としては、宴会にしては、記録的な酒の量とか!!調子が出初めたかという時、「中々です」と無粋な幹事の声。それではと芸者ともども、全員で旅館の「クラブ」で二次会、カラオケで雑音としか言い様のない声を出す者、迷惑そうな他の女性客と図々しく踊りだす者、酔っ払って訳のわからない事を言い動けなくなる者といろいろ。元氣のある何名かはそれから旅館の外へ三次会、四次会とか、御苦労様なことです。翌朝、二日酔の頭の痛さで目を覚ますと、外は土砂降りの雨、これではどこも見物できないと、勝手に決めて又床の中へ、遅目の朝食では、アジの干物と焼のりでビールを

三本も飲む者が出現。その後で生玉子と味噌汁で三杯飯、恐れ入りました。会計係は勘定書を見て青い顔、それもその筈、各部屋の冷蔵庫はスタミナドリンクまで飲み干し、カラッポ、皆から集金して清算、外は相変わらずの雨、さあ、どおするかと、全員思案顔!こんな時さすが西七青年部、グッドアイディアを出す者がいる。バスで湯元駅近くの西新宿七丁目御用達の「そば屋」へ開店前から飛び込み、酒だ、ビールだ、サワーだ、うるさい事。そのあげく朝食から何時間もたつてないのに、「天ぷらそば」だとか「ざるそば」だともう呆れて何も言えません。土産も買わずに帰りのロマンスカーへ。さす

がに飲む者もなく静かな寝息、新宿に着き反省会も中止し疲れ切った顔して解散。箱根に旅行に行つて公道を歩いたのは、「そば屋」から湯元駅までの八〇米だけ、その割には疲れた。ふらふらしながら家に戻り、ボタンキュー、もうこんな旅行はこりごりと思ひながら、田中新会長、来年も期待しているよ。体力付けて待っているから!



麻雀同好会

5B 川原康之

第14回麻雀同好会は、11月23日に「いたばし」に於て、24名の参加者で熱戦をくりひろげました。結果13回大会に続き優勝は私川原康之でした。準優勝は、田辺光夫さん、三位は佐藤十四男さん、ブービー賞は嶋村好彦さんでした。次回は私の3連勝なるか?第15回は同じく「いたばし」にて12時より行われ優勝は青年部長滝良貞さん、準優勝は新入青年部員鎌田雅さん。3位は森井光義さん。ブービー賞は宮島右近さん。ちなみに私は順位不明「残念」次回は11月の予定で進めております。多数の参加をお待ちいたしております。

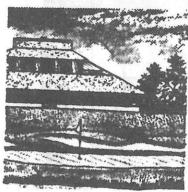
西七青年部

ゴルフ同好会

会長 森井光義

ゴルフ同好会も会を重ね第四回を迎える事が出来ました。今回は七組人数も二十八名となり女性も四人参加して戴き、五月二十一日(日)群馬県のベルエアカントリークラブで開催致しました。当日は朝五時に新宿を出発して七時に着きました。今回は人数が多かったもので、八時からイン三組アウト四組で別々にスタートしました。空模様は晴れたり急に雨が降って来たりとおかしな天気でしたが皆様楽しくプレイする事が出来ました。帰りのバスの中で表彰式を行い、三光化学の小川さんが優勝し準優勝は年の差

で加賀谷電気の清水さんでした。車中では朝が早かったので眠って居る人が多かったのですが、無事新宿に着きました。今年の十月に私も青年部を退部する事になりますので、今回は最後となりました。色々と皆様には御迷惑をお掛けし、また御協力を戴きありがとうございました。次回は若い浜田君が会長となりますので、私以上の御協力程よろしくお願い申し上げます。本当にありがとうございました。O Bとなりましても側面から応援したいと思つて居ります。



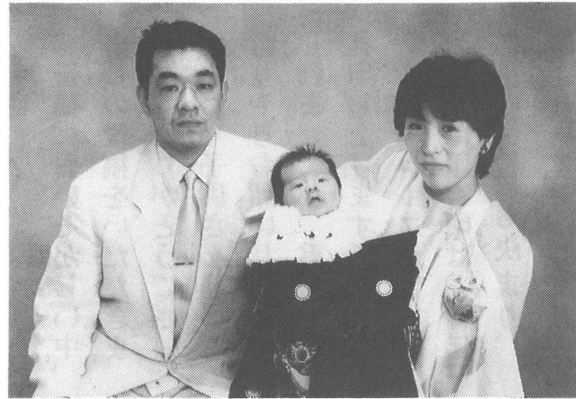
趣味雑感

7B 佐藤豊

「佐藤さんは、趣味が多いから、このコーナーをお願いします」と言われて「ピーン」と来るものはなかったのです。

格闘技以外のスポーツは何でも一応こなせるつもりです。決して「ヘタ」ではないつもりです。この何でもこなせる事が趣味が多い事と感違いされたのではないのでしょうか。

自分なりに考えてみますと、「趣味」という名の付く事はそんなにありません……「木目込み人形造り」、「木彫刻」、「筆字型体造り(自己流)」、この位いものです。

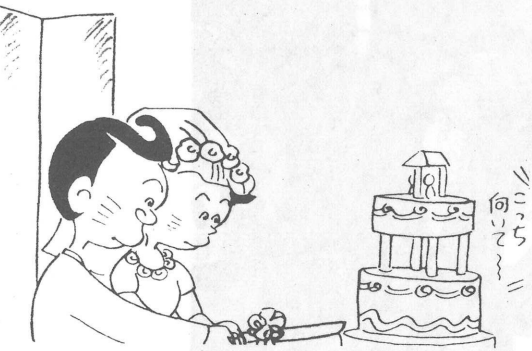


2人の愛の結晶。"翼"です。よろしく。



- ★新入部員紹介
- 4 B 羽賀和男さん すし幸
 - 4 B 小林卓哉さん にさんがろく
 - 7 B 鎌田雅さん 千徳食品株
 - 7 B 岩城真一さん 新宿新都心新 聞株

- ★ご結婚おめでとう
- 1 B 石川佳男さん 和子さん 平成元年四月
 - 5 B 清水孝さん ヨシ子さん 平成元年四月
 - 6 B 大塚康弘さん 香澄さん 昭和六十三年十一月



- ★ご誕生おめでとう
- 1 B 宮地利正さん 長女 悠夏ちゃん 平成元年五月生
 - 1 B 石川時義さん 長男 慶祐ちゃん 平成元年八月生
 - 5 B 清水孝さん 長男 翼ちゃん 平成元年六月生
 - 6 B 関根利博さん 次女 優花子ちゃん 平成元年十月生
 - 6 B 大塚康弘さん 長女 郁美ちゃん 平成元年九月生



野球、ゴルフ、その他のスポーツ等……私自信「趣味の内」に入れる事は出来ないのです。

私は元来、「趣味」とはあくまでも「趣味」であり、楽しみとして「好んでする」事であり、自分自信がすなおに「喜怒哀楽を表現」出来る手段であると思います。

自分が他人よりも優れていてはいけなし、勝負事に於いては、相手に勝つ喜びを与える事であり勝ってはいけなしと思うのです。

「何でもこなせる」と「趣味のある」人の違いとは、「何でもこなせる」とは、必ずと言って良い程相手がいますから、「勝」・「負」がつきまとう場面が多いのです。「趣味で麻雀をするん

だ」と言う人でも、相手に負けるわけにはいかないと、思います。

スポーツにしてもそうですし、「趣味でも生花を」と言う人でも、他人より上手に生けようとする気持ちが入ります。趣味が興じて商売をする人もいますが、実益がからめば「趣味」とは言わないのではないのでしょうか……「趣味」に他人は存在しなくて良いのです。私が、野球、ゴルフ、その他のスポーツ等を、「趣味の内」に入れないのは、他人に負けないで、勝つためにやっているからです。最後に「趣味」とは他人を気にせずに、自分が楽しみとして「好んでする事」であると思っています。

清水孝君結婚披露宴

6 B 正木恵二

平成元年四月九日(日) 午前九時に友人の竹内君と千代田区半蔵門の東條会館ロビーで待ち合わせました。今日は、梅寿司の清水孝君の結婚式であり、僕と竹内君の、生まれて初めての司会の日です。

披露宴会場を見て、マイクのテスト。入場や退場の時に流すBGMのセット。祝電を読む順番etc。やるのがいっぱいです。それなのに、何か一つ忘れていた事が或る様で上がりっぱなしです。しかし、孝君から「司会者もほとんど食べられないから。」と、サンドウィッチに、「と

ちってもいいから、大きな声でたのむね。」と、ウイスキーの差し入れが或り、少し落ち着きました。

「ご来場の皆様、新郎、新婦のご入場です。暖かな拍手でお迎え下さい。」と、僕が言う。孝君、ヨシ子さんの入場、緊張した表情だ。そして、ご媒酌人で或らせられる、滝良貞青年部々長夫妻の挨拶、孝君の叔父様が乾杯の音頭を取り、その後はウエディングケーキ入刀、キャンドルサービスとスムーズに式が進行する。

七丁目の方では、小林六郎様が来賓の挨拶、春日一郎様と川原康之様に歌を歌って戴きました。また、この様な機会が、或るかもしれませんが、

編集後記

皆様、おいそがしい中、多数の投稿をいただきまして、ありがとうございます。子供さん達にもわりやりお願いしたかもしれませんが、重ねて御礼申し上げます。

このニュースが皆様のお手元に届く頃は、青年部の新役員も決まり、ニュー・スタッフで新たな躍動を開始している頃でしょう。このニュースは次号に譲りまして、現役員の皆様そして編集長ご苦労さまでした。

早くも、次号の投稿を募集いたしており、又皆様に原稿のお願いにあがるかと思えます。

その節は、ヨロシク!!

(編集担当一同)



発行 西新宿7丁目町会青年部
事務所 西新宿7-22-9 滝部長宅
編集 町会青年部編集部